

poco a poco

パラグアイ便り 2023/06/02 Número4

2022年度 青年海外協力隊

氏名：吉田 花純

職種：小学校教育

こんにちは。任地へ到着して3ヶ月が経ちました。日本は夏に向けて、少しずつ暑さが増してきた頃でしょうか。こちらパラグアイでは冬に向けて、暑くもなく寒くもなく快適であると感じる日が増えてきました。依然として日中は気温が高くなることが多く、常に半袖を着用しています。しかし、一日の中での寒暖差が激しく、朝晩は冷え込むことがあります。半袖の上に薄手の羽織、パーカー、ダウンジャケットなどをこまめに使い分けて過ごしています。

さて、そんな気候に対しパラグアイのみなさんの服装はというと、セーターやダウンジャケットを日中から着込んでいたり、温かいニット帽をかぶっていたりする姿も見かけます。暑さには強いパラグアイのみなさんですが、寒さにはめっぽう弱いようです。日本では雪が降ることを伝えると“なんてロマンチックなの！”と、うっとりとした表情を浮かべていました。

【パラグアイ生活で強化された習慣・価値観】

よくもネタが尽きること無く次から次へと様々な問題や試練が襲いかかってくるものだなあ・・・と笑ってしまうほど、一日として“今日は平和だった!”と感じることのない日々を過ごしています。それでも、ずいぶんこの地での生活に適応してきた気がします。“郷に入っては郷に従え”と肝に銘じ、自分がこの地に適応することで楽になれることについては積極的に取り入れています。また、これまでの人生の中で大切にしてきたことを、よりいっそう意識して行うようになったこともあります。そこで今日は“パラグアイ生活で強化された習慣・価値観”について、その背景とともに3点ご紹介しようと思います。



“先生の日”には、子どもたちがダンスや詩のプレゼントをしてくれました。夜には先生たちだけのパーティーがあり、食事やダンスを楽しみました。

①やるべきこと・やりたいことは思い立ったその瞬間に実行すること

パラグアイを含めた“発展途上国”で生活するという事は、日本にいるときにはまず考えられないことが多く発生します。例えば、雨が降り出すと、間もなく停電が起きて家中の電気が使えなくなり、スマートフォンの通信も途絶えます。そのため、パソコンやタブレット、スマートフォン等の充電はなるべくこまめに行い日頃から備えています。そうそくも常備しています。また、雨漏りする箇所が部屋の中に何か所もあり、且つ日によって雨漏りする箇所が増えたり変わったりするので、ベッドやソファなどの大きな家具も右へ左へと移動させたり、ゴミ袋で物を覆ったりして、雨を凌いでいます。

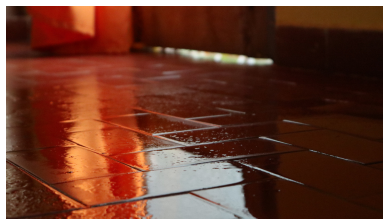
雨が降るということだけで、できなくなること・しなくてはならないことが増えます。仕事や掃除、買い出し等を後回しにすると、できなくなってしまうことが多いのです。そのため、“やれることはやれるうちにやっておく”という習慣が身につきました。



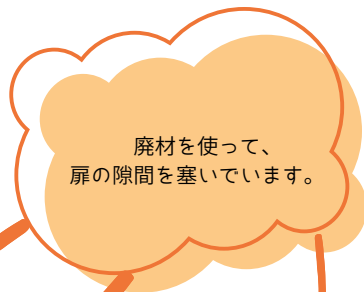
あるご家庭の
洗剤の空容器を使った歯ブラシ立て



雨漏りがひどく
ベッドを置く場所が無かったとき



雨漏りの様子



一緒に写真を撮ろう!と、
よく声をかけてもらえます。

②物を大切に使うこと

日本にいたときから“物は使えなくなるまで大切に使う”タイプでした。それは、雑に扱うと物が可哀想だという気持ちや、本当に気に入った物しか買わないからこそ大事に長く使いたいという気持ちが強かったのかもしれませんが。ここパラグアイでの生活では、物を大切に使う理由に新たな理由が加えられました。それは、“買いたい物が手に入るとは限らないからこそ、使える物は修理したり、組み合わせたりして大切に使う”ということです。首都アスンシオンまで移動すれば、大抵の物は手に入れることができます。しかし売っていても高額であったり、欲しい物自体が売っていなかったりすることもあります。また、日本製品と比べると素材が丈夫でなかったり、造りが簡素で壊れやすかったりするなどの物もあります。そのため、蚊帳の網目を何度も縫って修理します。木が腐って穴が空いた扉の隙間を塞ぐために、使い終わったお米の袋、紙ファイル、卵が入っていた容器を使って、雨やゴミ、虫が部屋に侵入することを防いでいます。見た目が少々悪くなることなんて、気にしていません。安心安全の生活空間を自分自身の手によって確保することが最優先です。

余談ですが、物を工夫して再利用するパラグアイの方の素敵なアイデアに遭遇することがあります。捨てるはずの物を再利用している点が、地球にも優しく素敵です。パラグアイでは、日本や韓国の中古車やバス、アメリカから仕入れた古着などが多く流通しています。新品や中古、ブランド物等に囚われず“私は私”と自分に自信を持ち、中身で勝負をしている感じがたまらなく素敵で、私も見習おうと思います。その自信の表れなのか『セルフイー!!』と言いながら、至る所で何枚も何枚もスマートフォンで自分撮りをする姿も魅力的です。

③物事に感謝し、ピンチに追い込まれたときこそ楽しむこと

日本では、蛇口を捻れば簡単に水が出て、温かいシャワーを浴びることもできます。しかし、それが難しい国もあります。私が住んでいるところでは、断水したり、シャワーのお湯が出なくなったりすることもあります。そんなとき、私は数年前にアフリカで生活していたときのことを思い出します。雨水で体を洗っていた生活を思い出すと“お湯が出なくても水が出るだけ有難い”と感謝することができるものです。

また、繰り返す雨漏りにしても“最悪だ・・・”といちいち落ち込むより、“次はここか!今回はどう防ごうかなあ!”とゲーム感覚で対抗する方が、少し楽しめたりするものです。もちろん、あまりにもショックでそうはいかないときもありますが、上手くいかなないことを楽しむ余裕がずいぶん出てきた気がします。

【ひとこと】

まだまだ自分の活動は始まったばかりですが、JICA青年海外協力隊の一員として“新聞社”での取材を受けたり、“教育科学省”でのプレゼンテーションを行ったりするなど、日本にいるときにはなかなか経験することのなかったことにも挑戦する機会をいただけています。満足に言語も話せないのにおがましいと思うこともありますが、自分がこうして活動させてもらっていることに改めて感謝し、できることから少しずつ、前向きに挑戦していけたらと思います。

JICA: voluntarios llegaron para dar apoyo técnico



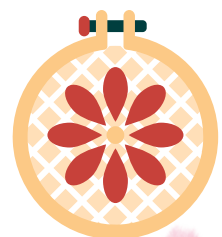
Japoneses visitaron las oficinas de nuestro diario.

Voluntarios de la Agencia de Cooperación del Japón (JICA) llegaron al país y permanecerán por dos años para apoyar técnicamente a varias instituciones, en el marco de su antiguo programa de cooperación internacional, implementado desde 1979. Las áreas de colaboración técnica son: educación, deportes, producción lechera y desarrollo industrial. La lista de voluntarios está compuesta por Kasumi Yoshida, Taisei Fujimoto, Eisuke Ohmura, Kazumasa Kosaka, Kaori Kobayashi y Hideyo Iwata. El plan de apoyo será desarrollado en escuela Rca. de Guatemala (Paraguari), la Federación Paraguaya de Judo y de Atletismo (Asunción), la Cooperativa Colonias Unidas, sede Santa Rita, y el colegio técnico Carlos Antonio López.

【おまけ】

時刻表の無いパラグアイのバスを乗りこなせるようになってきました。活動の無い土日に出かけることが、リフレッシュになっています。山登りをしたり、工芸品を観に行ったり… パラグアイの魅力を写真で紹介します。

頂上からの眺めが最高でした。



伝統工芸品
(ニヤンドウティ)

